

# 放課後等デイサービス自己評価表

# 運動学習支援教室てまり

公表：令和6年3月

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
体 制 整 備 境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準+αで配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			2Fの為階段はあるが、室内空間はバリアフリー化できている。
業 務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員一同主体的に参画している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			改善に向けて職員間で課題共有を図る。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後の検討課題
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月2回の研修会を設けている。
適 切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			HUGシステムを活用しさらに連携を深める
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			当事業所で決まったものを使用しているが、さらに改善を図っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			リーダーを中心に検討・決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			定期的にブラッシュアップしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			祝日イベント等、楽しめる内容を企画している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別・小集団・大集団に分け、より効果的な療育のあり方を探っていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			役割分担・動き等について細部まで確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後及び翌日打合せ後、振り返りの時間を十分に取り、支援充実につなげている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			HUGシステムを活用し、効果的な検証・改善を図っていく。
18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			HUGシステムを活用し、利用保護者との定期的な連携をさらに深めていく。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○				
関 係 機 関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			関係機関連携として、情報交換・連携会議・連絡調整を実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当事例無し。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		児童発達支援から放課後等デイサービスにスムーズにつなげるよう連携を図る。

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	移行事例無し。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	専門機関への情報提供・施設見学案内をしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後模索していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加するよう努める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送り時、HUG、モニタリング等を通して共通理解の機会を持っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	定期的な保護者面談の機会を持つよう努める。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	個別の懇談は開催している。今後保護者同士の連携が図れるよう支援していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			通信、HUG、LINEを活用している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	教室では行事開催予定無し。	
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員間では周知しているが、掲示についてさらに徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年3回実施しているが、利用児全員が参加できるよう調整する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	該当事例無し。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			フェイスシート記入等保護者との連携を図っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ファイル化し職員共有している。